

サイバーセキュリティ研究倫理相談TF
MWS/OWS/UWS連携企画セッション
Hypocrite Commits論文から考える
サイバーセキュリティ研究倫理

10月27日(水) 10:35～11:55

セッション概要

OSSコミュニティにおけるコードレビュープロセスを評価するため、Linuxカーネルに脆弱性入りパッチをコミットした論文が、IEEE S&P2021に採択された。論文採択後に、その研究倫理についてLinuxカーネルコミュニティ・S&Pプログラム委員会・著者らの所属大学を巻き込んだ大きな議論になり、結果として著者らは論文を取り下げる事となった。

本セッションでは、同論文の研究倫理面を中心に概観した後、オープンソース開発の観点、ヒューマンファクター/ユーザブルセキュリティ研究の観点、サイバーセキュリティ研究の観点、研究倫理の観点からそれぞれパネリストによる議論を行う。

本セッションは、サイバーセキュリティ研究倫理相談タスクフォースとMWS/ OWS/UWSの連携セッションとして開催する。

IEEE S&P'21 Program Committee Statement Regarding
The “Hypocrite Commits” Paper

May 6, 2021

https://www.ieee-security.org/TC/SP2021/downloads/2021_PC_Statement.pdf

アジェンダ

| 時間 | 内容 | 登壇者 |
|-------------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:35-10:40 | はじめに(5分) | 島岡 政基 (セコムIS研究所) |
| 10:40-11:00 | Hypocrite Commits論文概説 (20分) | 渡邊 卓弥 (NTT社会情報研究所) |
| 11:00-11:55 | パネルディスカッション (55分) | モデレータ 島岡 政基 (セコムIS研究所) パネリスト 柴田 次一 (Linux Foundation) 金岡 晃 (東邦大学) 秋山 満昭 (NTT社会情報研究所) 篠田 陽一 (北陸先端科学技術大学院大学) |

パネルディスカッション

- パネリスト
 - 柴田 次一 (Linux Foundation)
 - 金岡 晃 (東邦大学)
 - 秋山 満昭 (NTT社会情報研究所)
 - 篠田 陽一 (北陸先端科学技術大学院大学)
- モデレータ
 - 島岡 政基 (セコムIS研究所)

トピック

1. 議論の観点
 - OSSコミュニティの立場
 - Human Subject Researchの観点
 - サイバーセキュリティ研究の観点
2. 論文の査読プロセスの在り方
3. 査読プロセス以外のアプローチの可能性

利害関係者

- 開発者・開発コミュニティ (Developer Community)
- 実験参加者 (Participants)
- 研究者の所属組織(とIRB)
- 国際会議やジャーナルの運営主体
 - IEEE S&P、CSS等
- 研究コミュニティを束ねる学術関連機関
 - IEEE、IPSI、JST等

サイバーセキュリティ研究における倫理的な研究プロセスをサポートするには何が必要か？